

スペイン屈指の人気観光地をハイキングで巡る



情熱のアンダルシア・ハイキングと シエラ・ネバダ山脈、白い村 10日間

お申込みは
こちら

抜けるような青空と白い村、エキゾチックな雰囲気を残す世界遺産の旧市街、情熱的なフラメンコ、イスラム教とキリスト教の文化が融合し、独特の風景が世界中の人々を魅了するアンダルシア地方を、合計4回の多彩なハイキングで巡ります。秋も深まる11月に入ると日中の気温も下がり、ハイキングに適した季節となります。

発着地 東京

歩行時間 宿泊高度 宿泊施設 (全ホテル泊)

出発日～帰国日	旅行代金
11/17(月)～11/26(水)	¥886,000

- 燃油サーチャージ (2025年8月10日現在：目安約45,000円) が別途必要です。今後変更となる場合はご旅行代金ご請求の際にご案内いたします。
- ツアーリーダー (添乗員)：東京から東京まで同行します。
- 最少催行人数：10人 ● 食事：朝7回、昼7回、夕7回
- 利用予定ホテル：Cクラス以上。マラガ/エヌエイチマラガ ロンダ/ホテル マエストランサ フェンヒローラ/イルニオン、オキシデンタル グラナダ/ユーロスターズ グランピア
- 一人部屋利用追加料金：¥106,000
- 利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ

※日程4日目の王の小道ハイキングは、天候や気象条件によっては中止とし、別の代替コースにご案内することがあります。

アンダルシアを代表とする町に連泊

地中海性気候のもと、豊かな食文化や独自の伝統が根付いているアンダルシア地方。ピカソの生誕地として知られるマラガや断崖絶壁の街ロンダ、アルハンブラ宮殿のあるグラナダでの観光も旅の楽しみです。



▲崖の上に佇むロンダ (4日目)

エルトルカル

かつて海底だった場所が何百万年もの時を経て隆起し、長い年月をかけて風や雨に浸食されたことで形成されたカルスト地形の奇岩群「エルトルカル」。不思議な景観を間近でお楽しみいただけます。



▲奇岩が連なるエルトルカル (3日目)

王の小道

もとはダム工事の作業道でしたが、ダム完成の記念式典で国王が歩いたことから「王の小道」と呼ばれるようになりました。迫力ある岩壁の栈道は2015年に正式なハイキングコースとしてオープンしました。



▲王の小道をハイキング (4日目)

日程	発着地	スケジュール/食事【宿泊地】
1	東京 発 イスタンブール 着	夜、東京発✈イスタンブールへ。 ☐☐機【機中泊】
2	イスタンブール 発 マラガ 着	イスタンブールで乗り継ぎ、✈スペインのマラガへ。 着後、マラガの旧市街を散策。 機☐夕【マラガ泊 H】
3	マラガ 滞在 エルトルカル ハイキング	午前、☐エルトルカルへ (約1時間)。 ✳カルスト地形に奇岩が連なるエルトルカルでハイキングを楽しみます (徒歩約1.5時間)。 その後、マラガへ戻ります。 朝☐☐【マラガ泊 H】
4	マラガ 発 王の小道 ハイキング ロンダ 着	午前、☐エル・カミニート・デルレイの登山口へ (約1時間)。 ✳峡谷の断崖絶壁に作られた、王の小道 (エル・カミニート・デルレイ) という名前で呼ばれる栈道を歩きます (徒歩約3時間)。その後、☐崖の上にある街のロンダ (739m) へ (約1.5時間)。 朝☐☐【ロンダ泊 H】
5	ロンダ 滞在 白い村巡り	アンダルシアの知られざる白い村巡り。グラサレマ、サアラ・デ・ラ・シエラを巡りロンダへ戻ります。 朝☐☐【ロンダ泊 H】
6	ロンダ 発 ファナル十字 フェンヒローラ 着	午前、☐ファナルの登山口 (815m) へ。 (約2時間)。 ✳コスタ・デル・ソル (太陽海岸) とマルベリヤの街を見下ろすファナル十字の展望台ポイント (1,181m) へ。オリブ畑を抜け、ひと登りすると、展望が開けます (徒歩約3.5時間)。その後、☐コスタ・デル・ソルに面したフェンヒローラへ。 朝☐☐【フェンヒローラ泊 H】
7	フェンヒローラ 発 グラナダ 着 アルハンブラ宮殿 フラメンコ鑑賞	午前、☐グラナダへ。世界遺産のアルハンブラ宮殿を観光。イベリア半島に残ったイスラム王朝ナスル朝の栄華を伝えるイスラム建築の傑作です。夜は、本場アンダルシアのフラメンコを鑑賞します。 朝☐☐【グラナダ泊 H】
8	グラナダ 滞在 シエラ・ネバダ ハイキング	午前、☐ポケイラ渓谷へ。✳シエラ・ネバダの山並みを望みながらハイキングを楽しみます (徒歩約3時間)。 その後、グラナダへ戻ります。 朝☐☐【グラナダ泊 H】
9	グラナダ 発 フリヒリアーナ 着/発 マラガ 着/発 イスタンブール 着	午前、☐スペインで一番美しい村と称されるフリヒリアーナへ。フリヒリアーナは白い壁とオレンジ色の屋根の家が建ち並ぶ「白い村」です。 夕刻、マラガ発✈イスタンブールへ。✈イスタンブールで乗り継ぎ、東京へ。 朝☐☐機【機中泊】
10	イスタンブール 発 東京 着	夜、東京着。 機機☐

※航空会社の都合や現地事情により、日程は一部変更される場合があります。

アルハンブラ宮殿 3つの白い村

13世紀から14世紀にかけてナスル朝によって建てられました。キリスト教の支配下になると、イスラム建築の優美さを残しつつ、ルネサンス様式の改築も加えられ、異なる文化が融合した貴重な建築遺産となっています。



▲アルハンブラ宮殿のバル庭園 (7日目)

アンダルシアには素朴な田舎の雰囲気が楽しめる「白い村」が点在しています。大自然に囲まれたグラサレマ、古城が建つ岩山の下に広がるサアラ・デ・ラ・シエラ、高い人気を誇るフリヒリアーナの村を散策。



▲白い村サアラ・デ・ラ・シエラ (5日目)